

第 19 回児童虐待防止対策協議会	資料 4－3
平成 28 年 11 月 10 日	

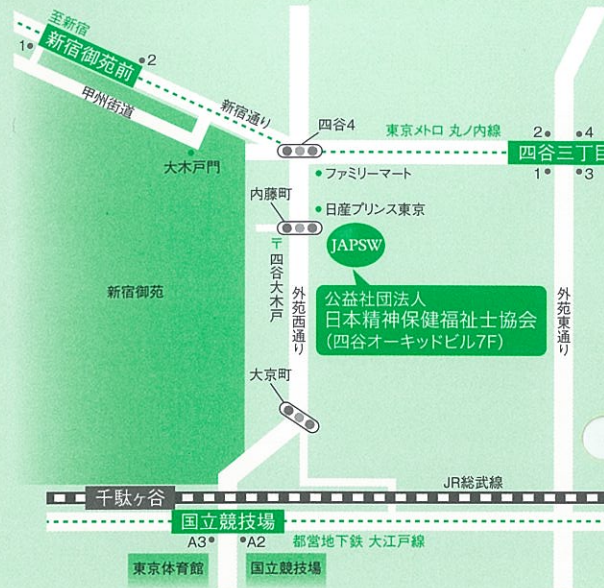
「公益社団法人日本精神保健福祉士協会」提出資料

協会の沿革

- 1964年 日本精神医学ソーシャル・ワーカー協会設立(会員数88人)
- 1965年 「PSW通信」、機関誌「精神医学ソーシャル・ワーク」創刊
- 1982年 協会宣言採択
「精神障害者の社会的復権と福祉のための専門的・社会的活動をすすめる」ことを協会の基本方針とする。
- 1988年 「倫理綱領」を制定
- 1997年 「精神保健福祉士法」制定
- 1999年 「日本精神保健福祉士協会」へ名称変更
- 2004年 「社団法人日本精神保健福祉士協会」設立許可(6月1日付)
- 2004年 日本精神医学ソーシャル・ワーカー協会が制定した「倫理綱領」を採択
- 2013年 「公益社団法人 日本精神保健福祉士協会」に移行
構成員数9,035名(3月8日現在)
参考:精神保健福祉士登録者数:57,956人(2月末現在)

協会の事業

- 1 **精神障害者等の精神保健福祉の援助を必要とする人々の生活と権利の擁護に関する事業**
精神障害者の権利擁護に関する施策提言や普及啓発、認定成年後見人ネットワーク「クローバー」の運営など
- 2 **精神保健福祉士の職務に関する知識及び技術の向上に関する事業**
生涯研修制度基本要綱に基づく基幹研修(基礎研修、基幹研修Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、更新研修)、養成研修(認定スーパーバイザー養成研修等)、課題別研修(ソーシャルワーク研修等)の実施、「研修センター」の設置及び運営など
- 3 **精神保健福祉士の倫理及び資質の向上に関する事業**
倫理委員会や日本精神保健福祉士学会の設置、全国大会・学術集会の開催、機関誌「精神保健福祉」及び構成員誌「PSW通信」の発行、ウェブサイトの運営、国際情報の収集、提供など
- 4 **精神保健福祉士の資格制度の充実発展並びに普及啓発に関する事業**
資格制度の充実発展や職域拡大に向けた要望活動、診療報酬改定に向けた情報収集・分析、精神保健福祉士養成及び精神保健福祉に関する普及啓発など
- 5 **精神保健福祉及び精神保健福祉士に関する調査研究に関する事業**
精神保健福祉士業務実態調査、精神保健福祉等に関する関係機関・団体が行う調査研究への協力など
- 6 **災害時における精神保健福祉の援助を必要とする人々の支援に関する事業**
「災害支援ガイドライン」の構成員への普及啓発、災害支援に関する研修、災害時の被災地支援など
- 7 **国内国外の社会福祉専門職団体やその他の関係団体との連携に関する事業**
国内の社会福祉に係る関係団体との連携、国際ソーシャルワーカー連盟(IFSW)への加盟及び国際会議への参加、都道府県協会との連携など
- 8 **その他の事業**
組織体制の強化、適切な組織運営の推進など



公益社団法人 日本精神保健福祉士協会 (JAPSW)

〒160-0015 東京都新宿区大京町23番地3 四谷オーキッドビル7F
TEL.03-5366-3152 FAX.03-5366-2993
URL <http://www.japsw.or.jp/>
E-mail office@japsw.or.jp

●お近くの都道府県精神保健福祉士協会等

本協会と都道府県精神保健福祉士協会等とは連携協力して事業や活動を展開しています。

多くの都道府県精神保健福祉士協会等が本協会の都道府県支部の運営を担っています。

Japanese Association of PSYCHIATRIC SOCIAL WORKERS

公益社団法人
日本精神保健福祉士協会

精神保健福祉士とは

OUTLINE 精神保健福祉士とは？

精神保健福祉士とは、1997年に誕生した精神保健福祉領域のソーシャルワーカーの国家資格です。

21世紀はこころの時代と言われています。多様な価値観が錯綜する時代にあって、こころのあり様は私たちがもっとも関心を寄せる問題の一つとなっています。

特に、わが国では、たまたまこころの病を負ったことで、さまざまな障害のある人々（精神障害者）に対する医療的ケアや地域生活支援の取り組みは、先進諸国の中で制度的に著しく立ち遅れた状況が長年続いていました。近年になり、関係法の改正などにより、ようやく精神障害者も一市民として地域社会で暮らすための基盤整備が図られるようになりました。

精神保健福祉士は、精神科ソーシャルワーカー（PSW: Psychiatric Social Worker）という名称で1950年代より精神科医療機関を中心に医療チームの一員として導入された歴史のある専門職です。社会福祉学を学問的基盤として、精神障害があっても、その人らしいライフスタイルの獲得が可能となるように、生活問題や社会問題の解決のための援助、地域生活支援の活動を行っています。

さらに、高ストレス社会といわれる現代にあって、広く国民の精神保健保持（メンタルヘルスケア）に資するために、医療、保健、そして福祉にまたがる領域で活躍する精神保健福祉士の役割はますます重要になってきています。

OCCUPATION 精神保健福祉士の職場

★近年広がった職域

医療機関

- 精神科病院・診療所
- 総合病院精神科

生活支援サービス

- 相談支援事業
- 地域活動支援センター
- グループホーム
- 就労移行支援事業
- 就労継続支援事業
- 自立訓練事業
- 救護施設
- 児童養護施設等

司法施設

- 保護観察所等★
- 矯正施設★

福祉行政機関

- 自治体・保健所
- 福祉事務所
- 精神保健福祉センター

その他

- 社会福祉協議会★
- ハローワーク等★
- 介護保険関連施設
- 教育機関
- 企業★
- 教育委員会

利用者

WORKS 精神保健福祉士の仕事

こんな人々を支援します

精神保健福祉士は、すべての住民、地域社会、国際社会等を対象とします。

人の一生が長くなっている現代、生まれてから永眠するまでのライフサイクルの各ステージやさまざまな領域において、こころの健康を保ち続けることが難しくなっています。近年では、たとえば発達障害、うつ病等の精神疾患、認知症、いじめ、虐待、労災や過労死、犯罪や災害・被害、自殺などの増加が挙げられます。精神保健福祉士は、次のような人々や環境を特にかかわる対象として支援していきます。

- こころの健康の保持・増進のため、精神保健福祉サービスを必要としている人々
- 疾病のために精神科医療サービスを必要としている人々
- 疾病や障害を抱えながら地域生活の維持を図るために精神保健福祉サービスを必要としている人々
- 精神障害のために社会参加に制約（権利侵害、差別など）を受けている人々
- 精神的な疾病や障害のある人々を取り巻く環境、地域

サポートします

精神的な疾病や障害により生活のしづらさを抱える人々は、現代社会において、さまざまな困難に直面しますが、人はどんな状況においても夢や希望のある暮らしを望むものです。そのようなとき、精神保健福祉士はご本人を中心に、お話をしっかりと聴かせていただき、その実現をめざして一緒に考え共に取り組んでいきます。たとえば、次のような困難や支援課題が想定されます。

- 人間関係
- 経済生活
- 居住環境
- 職業や教育
- 本人を取り巻く人々の自己実現 など

連携や協働を大切にします

人が心豊かに暮らすには、さまざまな人や場面、機関との出逢いや支えが必要です。一人ひとり、人間としての尊厳をもち、その人の生活は、多彩であると同時に、個別性の高いものです。そんな生活の支援者として、精神保健福祉士がいます。多様な機関や職種との連携や協働をもとにQOL（生活／人生の質）を高めるために、私たちをご活用ください。国家資格をもつ専門職（ソーシャルワーカー）として、安心と安全を提供していきます。